

皆でやろう「防災訓練」

【防災訓練の目的】

「防災訓練の目的は何か、そしてなぜそれが重要なのか」という疑問は、多くの人が抱えていると思います。

まず、防災訓練は災害発生時の迅速かつ適切な行動を促すために行われ、様々な種類の訓練を通じて、自助・共助の意識を養います。

また、訓練は災害時の被害を最小限に抑える目的があります。

さらに、社会全体での安全意識の向上や災害対応能力の強化に寄与し、地域のコミュニケーションを作り上げていきます。

このことから、防災訓練を行うことはとても重要ですので、大矢知地区自主防災協議会では、毎年11月に大矢知地区防災訓練を行っています。

サイレンを合図に防災訓練を行う!!



本年度は、巨大地震(南海地震)による火災・建物の倒壊等を想定した避難訓練を令和6年11月17日(日) 午前8時～12時 各町内及びあさけプラザ会場で、防災隊長、大矢知地区消防分団、朝明中学校生徒等の協力を得て防災訓練を行いました。

【訓練内容】

東南海地震が発生し、四日市市で震度6強を観測、大津波警報が発令されたことを想定し、避難指示サイレン(大矢知地区内3ヶ所)を合図に防災訓練を行いました。

- 各町内で、住民の安否確認訓練、避難行動要支援者声掛け訓練 (午前8時～8時45分)
- 各自治会集合場所等で、無線訓練 (午前8時15分～8時45分)
- あさけプラザ会場で、大矢知地区防災訓練 (午前9時30分～12時)
 - ・ 起震車体験 … 地震体験をすることで大地震への心構えや身の守り方を学びます。
 - ・ 応急救命訓練 … AED(自動体外式除細動器)の使い方や、胸骨圧迫や人工呼吸といった心肺蘇生法の手順を学びます。
 - ・ 消火放水訓練 … 消火用器具・消火栓の取り扱いを体験し、消火栓を使用して放水による初期消火を学びます。
 - ・ 避難所体験 … 居住者区画やプライベートルームなどを見学し、避難生活を学びます。
 - ・ 炊き出し訓練 … アルファ米を使用して、炊き出し手順を学びます。

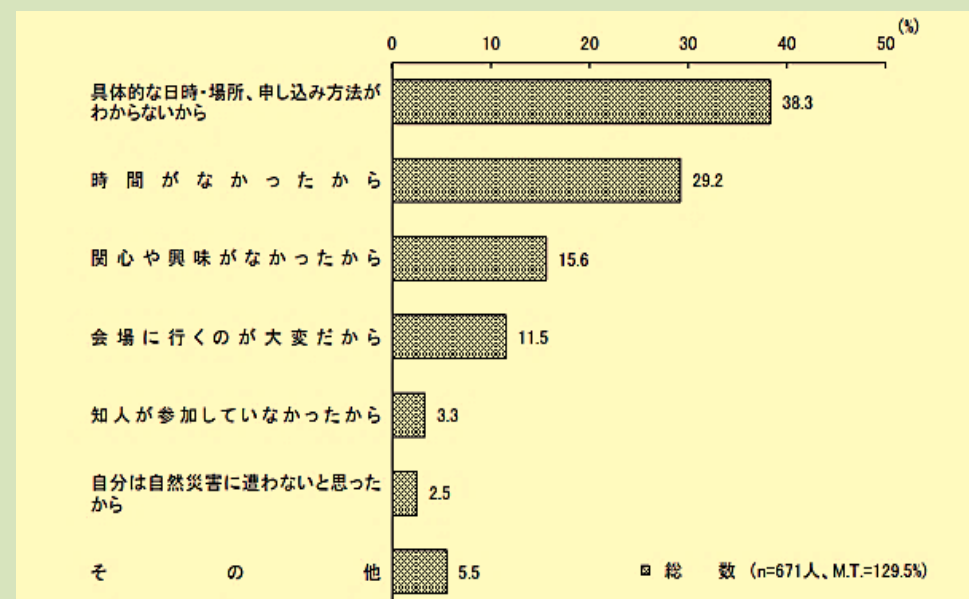
270名が参加した!!

事前に大矢知地区の自治会には、各6,7名程度の参加をお願いしたところ、当日は215名の方が参加、防災担当関係者等55名の参加があり、総人数270名の参加者で防災訓練を実施しました。今回、初めて朝明中学校生徒さんが参加し、炊出し作業を担当して頂きました。

内閣府の「令和4年度 防災に関する世論調査」によると、防災訓練に「参加したことがある」と回答した人の割合は、全体の半数を下回る約43.6%でした。

一方で、「参加や見学したことはない」人は37.5%、「防災訓練が行われていることを知らなかった」人は12.6%で、あわせて50.1%と全体の半数以上の方が防災訓練に参加・見学したことがない状況です。

防災訓練に参加または見学したことがない理由は右表のようなアンケート結果となりました。



出典：内閣府「令和4年度 防災に関する世論調査」から引用

起震車体験



あさけプラザ会場

応急救命訓練



消火放水訓練



避難所体験



炊き出し訓練



【お知らせ】

松寺第一東・第一西自治会の地震時一時集合場所は「ヒロセタオル駐車場」から「大矢知保育園園庭」に変更しました。

「防災だより NO. 17」

発行日：令和7月2月

発行者：大矢知地区自主防災協議会

『天災は忘れた頃にやってくる』 【能登半島地震】



「訓練状況一覧写真」



大矢知地区自主防災協議会
防災訓練のお知らせ
11月17日(日)
 午前8時から正午(雨天決行 警報発令時中止)
 午前8時30分 吹奏
 防災訓練開始
 各町で『安否確認・避難行動要支援者声掛け訓練・無線通話訓練』
 午前9時15分
 あさけプラザ 北広場
 体育館・中庭『全体訓練』
 応急車体験
 救命救命訓練
 消防放水訓練
 避難所体験
 午前11時30分
 炊出し・試食体験
 正午
 片付け 解散
 防災訓練終了
 参加人数に限りがあります。当日避難所にお越しの際は、事前に各町で自治会費へお問い合わせください。
 上履と財布を持参ください

「What we can do」～私たちにできること～

家族同様のペットたち 対策はできていますか

※同行避難
 避難所まで一緒に移動すること

災害は突然起こります。家族、飼い主の安全確保を優先してから落ち着いて行動しましょう。被害が大きいと自宅に戻れない場合もあるので、避難する場合は事情の許す限りペットも一緒に
 ※同行避難してください。小型犬や猫などはキャリーバックやケージに入れて、中型犬や大型犬はリードでつないで避難してください。

ペットを守れるのは「飼い主」だけです

○備えよう ペットの災害対策

災害への備えは、家族の一員であるペットも同様に考えなければなりません。まず住まいの防災対策として家の耐震化・家具の転倒防止、固定を図るとともに『**ペットの飼育場所は安全か**』を確認しましょう。

○災害に備えての心構え《チェックリスト》

- ☐ 家族で防災について話し合ったことはありますか
- ☐ ご近所や地域の飼い主仲間と話し合ったことはありますか
- ☐ 地域避難所などの確認や避難ルート、どのように連れていくか検討したことはありますか
- ☐ 「ケージ」や「キャリーバック」など避難させる用品を準備していますか
- ☐ 「迷子札」「マイクロチップ」「鑑札」「狂犬病予防注射票」を準備してありますか
- ☐ ペットに必要な「しつけ」や予防接種など健康管理はしてありますか
- ☐ ライフラインが寸断した時のために「フード」「水」の備蓄はしてありますか
- ☐ 緊急避難時に『持ち出すもの』を用意していますか
- ☐ 万一に備え、一時預かり先は確保してありますか



◆◆ 必ず準備してほしい持ち物リスト ◆◆

※耐水性のある入れ物に入れるとなお良い。

- ☐ 5日以上のフード・水 ☐ 食器(食事用) ☐ 薬類
- ☐ ケージやキャリーバック 首輪、リード
- ☐ ペットシート ☐ 排泄物の処理用具
- ☐ トイレ用品(猫の場合は使い慣れたトイレ砂)
- ☐ ペットのワクチン歴や病歴、飼い主情報を記録したもの(写真もあると良い)
- ☐ 飼い主の連絡先
- ☐ タオル・ブラシ・ウェットタオル等お手入れ道具
- ☐ 好きなおもちゃ ☐ 洗濯ネット(猫の場合)
- ☐ ガムテープやペン、新聞紙 等

※環境省ホームページ「ペットの防災対策」参考

・地域ではどうなのか事前確認を！

大矢知地区では、避難所外部にペットスペースを設置する計画です。

・避難所でのペットの飼育ルール

避難所では動物アレルギーの人、動物が苦手な人、心身を休めたい人、子どもや高齢者など多くの人たちが共同生活を送ることになりますので、普段よりも周りに配慮が必要です。避難所ではルールに従い、

飼い主同士が助け合い協力して過ごすことが大切です。

